図書館だより

第７号　１２月１日号

＊期末テスト真っ最中！！

12 月になりました。3 日までは期末テスト、３年生は期末テスト後いよいよ受験シーズンが始まります。時間的余裕がなく、本を読む時間は余りとれないかもしれません。でも、一日に 10 分でもいい、本を読み時間をとるだけで、リラックスできたり、発想の転換が図れたりします。

図書館には新着図書も入りました。ぜひ本を手に取って見ましょう！！

＊新着図書　興味のある本があったら図書館へ！！

書名	著者名
フードバンクという挑戦 貧困と飽食のあいだで	大原　悦子著
新編教えるということ	大村　はま著
本質を見抜く「考え方」	中西　輝政著
里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える	金丸　弘美著
ＳＤＧｓ入門	村上　芽，渡辺　珠子著
スマホを捨てたい子どもたち 野生に学ぶ「未知の時代」の生き方	山極　寿一著
動的平衡　新版　生命はなぜそこに宿るのか	福岡　伸一著
功利主義入門　はじめての倫理学	児玉　聡著
移民と日本社会 データで読み解く実態と将来像	永吉　希久子著
老いのかたち	黒井　千次著
マーケティングを学ぶ	石井　淳蔵著
社会調査のウソ リサーチ・リテラシーのすすめ	谷岡　一郎著
事実はなぜ人の意見を変えられないのか 説得力と影響力の科学	ターリ・シャーロット著　上原　直子訳
教養の書	戸田山　和久著
ＳＤＧｓの実践　自治体・地域活性化編 持続可能な地域社会の実現に向けて	村上　周三，他著　事業構想研究所， 白田　範史編
持続可能な地域のつくり方 未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン 実践地方創生×ＳＤＧｓ	筧　裕介著
図解でわかる１４歳からのプラスチックと環境問題	インフォビジュアル研究所著
森の日本史	黒瀧　秀久著
ＡＩの時代を生きる 未来をデザインする創造力と共感力	美馬　のゆり著
〈弱さ〉を〈強み〉に 突然複数の障がいをもった僕ができること	天畠　大輔著
最澄と徳一　仏教史上最大の対決	師　茂樹著
新型コロナと向き合う 「かかりつけ医」からの提言	横倉　義武著
トットちゃんと訪ねた子どもたち フォトエッセイ　　撮り続けて三十五年	田沼　武能著
覇権帝国の世界史	佐藤　賢一著
女子高生コンクリート詰め殺人事件	佐瀬　稔著
草々不一	朝井　まかて著
晴れときどき涙雨　高田郁のできるまで	高田　郁著
コアラの国の教育レシピ 日本人教師が見たオーストラリアの学校	本柳　とみ子著
清少納言を求めて、フィンランドから京都へ	ミア・カンキマキ著　末延　弘子訳
原因において自由な物語	五十嵐　律人著
Ｋの昇天	梶井　基次郎著　しらこ画
二月の勝者　小説　絶対合格の教室　春夏の陣	伊豆　平成著　高瀬　志帆原著
正々堂々　私が好きな私で生きていいんだ	西村　宏堂著
文学・文献の中のふるさと 東海道五十三次宿場町　掛川・日坂を中心とした	鈴木　清明〃著
アウシュヴィッツ生還者からあなたへ １４歳、私は生きる道を選んだ	リリアナ・セグレ著　中村秀明訳
欧州ポピュリズム　ＥＵ分断は避けられるか	庄司　克宏著
ＡＩ原論　神の支配と人間の自由	西垣　通著
人工知能　機械といかに向き合うか	ＤＩＡＭＯＮＤ ハーバード・ビジネス・レビュー編集部編訳
世界の経済学　５０の名著	Ｔ．バトラー＝ボードン著，大間知知子訳
伊藤真の法学入門　講義再現版　補訂版	伊藤　真著
神話でたどる日本の神々	平藤　喜久子著
はじめての考古学	松木　武彦著
世界国勢図会　２０２１／２２年版 世界がわかるデータブック	矢野恒太記念会編
文藝春秋オピニオン２０２２年の論点１００	
現代用語の基礎知識　２０２２	
キングダム　６３	原　泰久著
江戸の災害　オランダ商館長が見た	フレデリック・クレインス著
ロボットと人間　人とは何か	石黒　浩著
視覚化する味覚　食を彩る資本主義	久野　愛著
江戸の学びと思想家たち	辻本　雅史著
親を頼らないで生きるヒント 家族のことで悩んでいるあなたへ	コイケ　ジュンコ著
数理の窓から世界を読みとく 素数・ＡＩ・生物・宇宙をつなぐ	初田　哲男，柴藤　亮介編著

＊新着図書から

正々堂々　私が好きな私で生きていいんだ　西村　宏堂著

ＴＩＭＥ誌の「２０２１　Ｎｅｘｔ　Ｇｅｎｅｒａｔｉｏｎ　Ｌｅａｄｅｒｓ」に選ばれた著者は LGBTQ で、僧侶で、メイクアップアーティストである。他人とはどこか違う自分、男性を好きな自分は、恥ずかしい存在で、劣等な人間なんだと感じていた著者。

高校時代は友だちがゼロのモノクロの世界に生き、高校卒業後に渡米するも「日本人は受け入れられないんだ」と落ち込んでいた。

世間や周りの反応を気にしていた自分から自分の「好き」を掲げて正々堂々と生きていくようになるまでを語った初エッセイ!

＊「普通はこう！」って相手に言ってると、自分も普通じゃないといけなくなる

＊顔も見えない世間の価値観に自分の人生のハンドルは渡さない

＊得意なことを誇るより、自分が好きなことを大きな旗にして誇らしく掲げて楽しむ人生が最高！

＊相手の「好き」を認められれば、自分の「好き」をもっと好きになれる

＊人をむやみにカテゴリーに入れてその人のパーソナリティを決めつけてしまうのはとても愚かなこと

等々、他人と違う自分を受け入れ、好きになり、ユニークな自分として正々堂々と生きていく方法を提案してくれる。

＊お知らせ

司書室前に廃棄本を置いてあります。終業式前には廃棄してしまいますので、覗いてみて欲しい本があったら自由に持って行って下さい。